

「1年探究科学科合同 HR」を実施

令和7年5月29日(木)、本校螢雪館ホールにて「1年探究科学科合同 HR」を実施しました。このHRは、入学して2ヶ月ほどたった本校探究科学科1年生と、これまでの探究科学科卒業生をオンラインでつなぎ、探究科学科での学びについて先輩から話を聞くというものです。最初に卒業生3名からそれぞれお話いただいた後、質疑応答が行われました。卒業生からは、学校内での活動（課題研究など）に加え、学校外での活動に参加して得られた経験についてもお話いただき、1年生にとってはとても刺激になったようです。また、探究科学科での学びが、大学での研究や将来の職業につながっているということ先輩から直接聞くことで、今後の学びのモチベーションにもなったようです。

後半の質疑応答では、「どうして今の大学を選んだのか？」「高校1年生のうちにやっておくべきことは何か？」といった率直な質問がなされ、先輩方から三者三様の答えをいただきました。このあとの探究科学科での高校生活を有意義に過ごしていくヒントにあふれたHRでした。

<生徒の感想>

- ・失敗しても挑戦してみることが大切なのだと気づいた。まだ失敗することは怖いけれど失敗してもそれで終わるのではなく振り返ってもっと良い行動を次からとることを大切にしたい。
- ・どの先輩も自分に合った学習方法を見つけ、それをもとに学習計画を立てているという事が分かった。所属している部活動が異なり、活動日数や時間は違うものの、スキマ時間を有効活用していた。また、自分のやりたいことを逃げずにつき詰め、常に刺激を求めているという共通点があった。探究科学科の一員として、その精神を見習いたい。
- ・「探究科学科の人は皆、変人だ。今そうでなくても、いずれ変人になる。」という言葉が深く印象に残っている。私はその言葉を悪い意味で受け取ってはいない。むしろ、いい意味で受け取っている。個性が強く様々な事に疑問を持てる素晴らしい人になっていく、私もそうなれるために、手を抜かず、丁寧に勉強と向き合っていきたい。
- ・私は姉や兄がいないので、普段は聞けない大学生活のことや学習及び探究活動へのアドバイスをお聞きすることができてとても嬉しかった。探究活動や課外活動を通して知的好奇心や批判的思考力を養い、それらを武器にできるようにしようと思った。自分が探究科学科を志した時のことを忘れず、今自分自身がタカ高の探究科学科の生徒であることに誇りを持って、様々なことに挑戦していきたい。
- ・まだ高校生活に完全には慣れていない中で、先輩のお話を聞いてとても良かった。まだ何をすれば良いのかははっきり分かってないので、興味を持ったことにはとにかくチャレンジしてみることが良いのだということを知り、勇気が出た。これからたくさん悩むことがあると思うけど、今回の先輩の話を思い出して、真剣に悩みと向き合い、頑張りたいと思った。



探究科学科卒業生の話をしている様子



探究1年生が質問している様子